

1 公示・基準価格状況の基本的な操作の流れ

公示価格状況と基準価格状況の画面操作メニュー(ボタン)は異なりますが、各価格の基本操作方法は同じです。ここでは公示地価格状況を例として取り上げています。

(1) 公示価格状況のグラフ表示

「状況」ボタンをクリック。「公示価格状況」ボタンを選択

公示地の一覧表を表示します。(緯度経度あり)

用途地域別平均価格推移

用途地域別平均価格

「平均」もしくは「変動率」をチェックすると、上図のように、地点毎に色分けされて表示され、平均価格や変動率を色で確認できます。変動率はマイナスの場合、青色で表示されます。

(2) 公示価格状況の領域表示

① 物件付近の公示価格

「領域表示」ボタンをクリック

ボタンで物件付近を拡大します。

「範囲選択」ボタンをクリックし、範囲の中心位置でマウスを押して、その後に半径をドラッグしてマウスを放します。範囲に含まれる公示地の一覧が表示されるので、不要な公示地を外して、「選択実施」ボタンをクリックします。

「個別表示」ボタンをクリック

公示地の個別情報が表示されます。

② 都道府県全体の公示価格の状況

「FIT」ボタンで県全体(図全体)を表示して、「平均」もしくは「変動率」をチェックすると、下図のように、市区町村毎に色分けされて表示され、左側に市区町村毎の計算結果が表示されます。

例)「無し」を選択した場合

例)「平均」を選択した場合

例)「変動率」を選択した場合

「FIT」ボタンで県全体を表示します。
「CITY」ボタンで該当市区町村の範囲で表示します。

計算結果は正の数値は赤、負の数値は青で表示されます。
色が濃いほど数値が大きいことを示しています。
取引が無い市区町村は白で表示されます。
現在、負の値が表示されるのは、公示地の変動率表示だけです。

なお、本資料の画面や記載内容につきましては、今後、変更される場合があります。